



財団法人全日本スキー連盟

第 28 回 スキー パ ト ロ ー ル 技 術 競 技 大 会
2013 年 スキー パ ト ロ ー ル 研 修 会 (第 3 会 場)



スキー パ ト ロ ー ル 技 術 競 技 大 会 2013 年 3 月 23 日(土)～24 日(日)

スキー パ ト ロ ー ル 研 修 会 (第 3 会 場) 2013 年 3 月 22 日(金)～24 日(日)

群馬県・スノーパーク尾瀬戸倉

SNOW PARK
oze tokura

祝

第28回スキーパトロール技術競技大会
選手の皆さんの御健闘をお祈りいたします



日本スキーパトロール協議会（JSPA）

会	事	長	一	戸	繁	輝
理	会	長	遠	藤		正
副	会	長	田	口	晶	英
副	会	長	松	本	徹	也
副	会	長	加	藤	昭	光
副	会	長	廣	田	正	利
			相	澤		徹

URL <http://jspa.la.coocan.jp/>
e-mail: info@jspa.la.coocan.jp

スキーパトロール技術競技大会一覧

回	開催年	都道府県	スキー場	総合Top3（備考）		
				1位	2位	3位
30	2015					
29	2014					
28	2013	群馬県	スノーパーク尾瀬戸倉			
27	2012	北海道	ルスツリゾート	宮城選抜	北海道ス連	神奈川
26	2011	北海道	ルスツリゾート	（東日本大震災により中止）		
25	2010	岩手県	網張温泉スキー場	宮城選抜	平湯温泉B	平湯温泉A
24	2009	群馬県	パルコール嬌恋スキーリゾート	兵庫鉢伏	チーム宮城	福島選抜
23	2008	福島県	あだたら高原スキー場	宮城選抜	兵庫鉢伏	神奈川男子A
22	2007	石川県	白山瀬女高原スキー場	宮城選抜	兵庫鉢伏	群馬選抜
21	2006	群馬県	水上宝台樹スキー場	宮城選抜	神奈川B	兵庫鉢伏
20	2005	長野県	夜間瀬温泉スキー場	ジュネス栗駒	アルツ磐梯	ダイナランド
19	2004	岐阜県	朴の木平スキー場	ジュネス栗駒	アルツ磐梯	ダイナランド
18	2003	福島県	あだたら高原スキー場	ダイナランド	宮城選抜	福島B
17	2002	秋田県	ジュネス栗駒スキー場	宮城選抜	ダイナランド	アルツ磐梯
16	2001	新潟県	シャルマン火打スキー場	宮城選抜A	野沢温泉	アルツ磐梯
15	2000	群馬県	草津国際スキー場	アルツ磐梯	ジュネス栗駒	ダイナランド
14	1999	宮城県	オニコウベスキー場	宮城A	ジュネス栗駒	宮城B
13	1998	福島県	あだたら高原スキー場	札幌選抜	アルツ磐梯	北海道自衛隊
12	1997	岐阜県	平湯温泉スキー場	秋田	北海道A	山梨
11	1996	長野県	野沢温泉スキー場			
10	1995	北海道	ルスツリゾートスキー場	野沢温泉	白馬A	福島アルツ
9	1994	青森県	大鰐スキー場	群馬	白馬A	北海道
8	1993	岐阜県	ダイナランドスキー場	群馬A	福島C	北海道A
7	1992	長野県	斑尾高原スキー場	群馬A	福島C	青森B（八甲田）
6	1991	福島県	猪苗代・猫魔スキー場	群馬A	福島B	福島A
5	1990	山形県	蔵王スキー場	福島C	群馬A	宮城A
4	1989	福島県	あだたら高原スキー場			
3	1988	秋田県	田沢湖スキー場			
2	1987	長野県	八方尾根スキー場	長野A	長野B	福島A
1	1986	岩手県	網張スキー場	山形A	長野B	

※ 第10回大会より搬送種目はロープボートからアキヤボートになった

目 次

競技大会一覧	1
開会式閉会式式次第	2
競技大会開催要項	3
大会役員・競技役員	4
技術競技大会日程	5
競技大会要項	6
選手名簿	9
研修会開催要項	11
研修会日程	12
研修会参加者名簿	13
雪上競技大会コース図	15
会場施設配置図	16

スキーパトロール技術競技大会 式次第

開 会 式	閉 会 式
1 開式の辞	1 開式の辞
2 主催者挨拶	2 主催者挨拶
3 来賓挨拶	3 来賓挨拶
4 役員等紹介	4 成績発表
5 選手宣誓	5 表 彰
6 閉式の辞	6 講 評
	7 閉式の辞

公認スキーパトロール研修会 式次第

開 会 式	閉 会 式
1 開式の辞	1 開式の辞
2 主催者挨拶	2 主催者挨拶
3 来賓挨拶	3 来賓挨拶
4 主任講師挨拶	4 講 評
5 講師紹介	5 シーハイル
6 閉式の辞	6 閉式の辞

第 28 回スキーパトロール技術競技大会開催要項

- 【 会 期 】 2013 年 3 月 23 日(土)～3 月 24 日(日)
- 【 会 場 】 群馬県・スノーパーク尾瀬戸倉
- 【 主 催 】 財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 財団法人全日本スキー連盟安全対策部
- 【 本 部 】 尾瀬高原ホテル TEL 0278-58-7511 hotel@ozetokura.co.jp
〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉 329
- 【事業の目的】 本大会は、年に一度、全国各地で活躍するスキーパトロールが一堂に会し、スキー傷害等が発生した場合に備え、より早く安全に関係機関への引き渡しができる技術を研鑽することにあります。
- 【参加資格】 1. SAJ 登録会員 1 級以上で、スキーパトロール活動に従事していること。
2. 傷害保険に加入していること。
- 【チー ム】 各チームは SAJ 加盟団体より推薦された監督 1 名を含む 6 名以内で構成する。
- 【携 行 品】 アキヤボートは、各チームで準備する。但し、準備できない場合は事前に大会事務局に連絡する。室内競技で使用するロープ、三角巾は大会本部で準備する。
- 【特 典】 競技大会参加者は、公認パトロール研修会規程に定める研修会出席と同等の扱いとする。この際、所定の研修会申込み用紙に記入のうえ、研修会参加料を添えて加盟団体経由で申し込むこと。

第 28 回スキーパトロール技術競技大会 大会組織

【大会役員】	会 長	鈴木 洋一
	副 会 長	吉 田 肇 坂本 祐之輔
	大会委員長	岡山 紘一郎
	大 会 役 員	谷 雅 雄 古川 年正 林 辰夫 登山 一成 五十嵐憲雄 増田 千春 矢 舩 保 夫
【組織委員会】	委 員 長	山 田 隆
	副 委 員 長	片 倉 善 文 秋 元 洋 一
	委 員	鈴木 恵太 米田 幸雄
【地元役員】		片品スキークラブ会長 萩原 壮児 尾瀬スノースポーツクラブ会長 萩原 文和 スノーパーク尾瀬戸倉総務部長 小笠原 正広 片品村スキー連絡協議会安全対策部長 星野 登志夫
【総 務】		富樫 泰一
【地元協力】		片品スキークラブ 群馬県スキー連盟安全対策部 スノーパーク尾瀬戸倉

第 28 回スキーパトロール技術競技大会 競技役員

〈雪上競技〉

技 術 代 表	片倉 善文
競 技 委 員 長	秋元 洋一
競 技 係 長	鈴木 恵太
主 審	米田 幸雄
出 発 審 判	保坂 淳司
決 勝 審 判	竹田 直彦
旗 門 審 判 長	山本 武志
計時計算記録係長	富樫 泰一
コ ー ス 係 長	森山 直温
コ ー ス 係	研修会参加者
セ ッ タ ー	鈴木 恵太 竹田 直彦
ペナルティ審判	竹田 直彦 太田 和明 山川 正一 辺見 秀利
会 場 施 設 係 長	和田 均

〈室内競技〉

ロープ競技審判長	米田 幸雄
ロープ競技審判	山本 武志
三角巾競技審判長	鈴木 恵太
三角巾競技審判	保坂 淳司
計時計算記録係長	富樫 泰一
計 時 審 判	竹田 直彦 太田 和明 山川 正一 辺見 秀利
会 場 施 設 係 長	和田 均

第 28 回スキーパトロール技術競技大会 日程

○大会前日 3月22日(金)

時 間	項 目	場 所	備 考
17:00	役員集合	本部宿舎	
18:00～	夕食	2F レストラン	
19:30～20:00	組織委員会	カトレア	
20:00～21:00	役員会	カトレア	

○第1日目 3月23日(土)

時 間	項 目	場 所	備 考
07:00～	朝食	2F レストラン	バイキング
08:00～10:00	受付	1F ロビー	
10:00～11:00	監督会議	2F 大広間	
10:30～12:00	ボートチェック	乾燥室前	
13:00～13:45	開会式	2F 大広間	
14:30～18:00	室内競技	2F 大広間	
19:00～21:00	情報交換会	1F レストラン	

○第2日目 3月24日(日)

時 間	項 目	場 所	備 考
07:00～	朝食	2F レストラン	バイキング
09:00～09:40	選手インスペクション	ダイナミック	ビブ着用
09:45～09:55	ジュリーインスペクション	ダイナミック	
10:00～11:00	アキヤボート搬送競技	ダイナミック	
11:30～12:15	チーム総合滑走競技	ダイナミック	
13:30～14:15	大会表彰式・閉会式	1F レストラン	

第 28 回スキーパトロール技術競技大会 要項

1 目的

本大会は、年に一度、全国各地で活躍するスキーパトロールが一堂に会し、スキー傷害等が発生した場合に備え、より早く安全に関係機関への引き渡しができる技術を錬磨することにある。

2 競技種目

雪上競技 2 種目及び室内競技 2 種目の合計 4 種目で行なう。

3 競技方法

- (1) 競技は、各チーム登録された 6 名（監督 1 名含む）の選手で行なう。
- (2) 競技に関する統制や細部事項等については監督会議で決定する。
- (3) 雪上競技は、ヘルメットの着用を義務付ける。

4 雪上競技

救護活動を想定した、安全かつ迅速な搬送技術を競うアキヤボート搬送とスキー技術とチームワークを競うチーム総合滑降の 2 種目で行う。

4-1 アキヤボート搬送種目

- (1) 競技は、1 チーム 5 名（仮傷病者 1 名を含む）で行う。
- (2) 仮傷病者を乗せたアキヤボート（前後 2 人操作）の 2 区間リレー搬送方式で行なう。
- (3) 第 1 区間はスタートから交代エリアまで、第 2 区間は交代エリアから停止エリアまでとする。
- (4) 得点は、アキヤボート後方の選手がスタートラインを通過してから、前方の選手がゴールラインを通過するまでの計測タイムとペナルティタイムの合計で競う。

4-1-1 ペナルティタイム

- | | |
|-----------------------|------|
| (1) 旗門に接触（接触の程度に関係なく） | 5 秒 |
| (2) アキヤボートの転覆 | 10 秒 |
| (3) 搬送者の転倒 | 10 秒 |
| (4) 搬送者以外の補助行為 | 10 秒 |
| (5) 交代・停止エリア内で無停止 | 5 秒 |

4-1-2 ルールの付則

- (1) アキヤボート内の仮傷病者の姿勢は、頭を斜面上方で腹這いまたは、仰向けとする。
- (2) アキヤボートの通過とは、2 人搬送の状態で前後の選手が、旗門と旗門を結ぶライン上を両スキーで通過したとき「通過」と認める。
- (3) 交代・停止エリアで完全停止する。
- (4) 競技は、計測開始から終了まで 1 チーム毎を原則とする。
- (5) 再レースの必要な「抗議」については競技終了後 5 分以内に、当該選手もしくは監督が主審に対して行うものとする。ただしペナルティに対する抗議は一切これを認めない。

4-2 チーム総合滑降種目

- (1) 競技は、1 チーム 4 名で行う。
- (2) 滑降は、自由演技とする。
- (3) 評価の観点は、演技構成・スキー技術・スピード・チームワークとする。
- (4) 得点は、500 点から 5 人の審判員の得点を除した値に係数を乗じたものと、ペナルティタイムとの合計とする。係数は監督会議で提示する。

4-2-1 ペナルティタイム

- | | |
|---------------------|-----|
| (1) 停止エリア内での無停止 | 5 秒 |
| (2) スキー、ストック、手袋等の脱落 | 5 秒 |

4-2-2 ルールの付則

同点の場合の順位は、搬送種目の順位に準ずる。

5 室内競技

救助活動等に必要な技術、スピードと正確さを競うロープ操法と指示された部位への迅速で正確な包帯法について競う三角巾包帯法の 2 種目で行う。

5-1 ロープ操法種目

- (1) 競技は、1 チーム 4 名で行う。
- (2) 指定した結束（1 人 2 種目）を申告した選手順で行う。
- (3) タイム計測は、審判長の「始め」の合図から、選手の両足がゴールラインを通過するまでとする。
- (4) 得点は、4 人の計測タイムに 1.5 を乗じた値とペナルティタイムの合計とする。

5-1-1 ペナルティタイム

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 未完（誤結束、タイムオーバー、判定基準違反） | 失格 |
| (2) 指定条件違反 | 3 秒 |

5-1-2 ルールの付則

- (1) ロープは、大会本部で準備したものを使用する。
- (2) 制限タイムは、2 種目で 60 秒とする。
- (3) ペナルティの判定は審判員が行う。
- (4) 指定条件
 - a) 目的に適う正しい結束であること。
 - b) 結束後の末端の長さは約 10cm（一握り）程度を目安とする。
 - c) 輪を作る結束は、輪の大きさの基準を満たすこと。
 - d) 結束の手順は自由であるが、「踏み付け操作」をしてはならない。
- (5) 審判長は、監督会議において結束種目と指定条件を明確に伝達し、判定ゲージを提示する。
- (6) 審判長は、ペナルティを付加した内容を明確にし、選手に提示する。
- (7) 判定終了後、審判長の指示があるまで結束された状態を保持する。

- (8) 判定についての『抗議』は一切認めない。

5-2 三角巾包帯法種目

- (1) 競技は、1 チーム 4 名のリレー方式で行う。
- (2) 指定部位への包帯を申告した選手順で、仮傷病者に行う。
- (3) 計測は、審判長の「始め」の合図から、第 4 競技者の両足がゴールラインを通過するまでとする。
- (4) 得点は、4 人の計測タイムを 2 で除した値とペナルティタイムの合計で競う。

5-2-1 ペナルティタイム

- (1) 指定種目違反（指定された部位の間違い及び誤った包帯法） 失格
- (2) 指定条件違反 3 秒
- (3) 完成状態（8 種目の仕上がりの状態をタイムで評価する）
 - a) A ランク 0 秒
 - b) B ランク 2 秒
 - c) C ランク 4 秒

5-2-2 ルールの付則

- (1) 三角巾は、競技本部で準備したものを使用する。
- (2) ペナルティの判定は審判員が行う。
- (3) 仮傷病者は、競技本部で統制する。
- (4) 指定条件
 - a) 「目的に合う」とは、正しい部位（頂点の位置・巻きすぎ）への適切な包帯（正しい頂点の位置・巻きすぎない）であること。
 - b) 「縛り方」は、「本結び」とする。
 - c) 「末端処理」は、両末端を両方に分けて上から処理する。
 - d) 「縛り目の位置」は、傷害部位を外した高い位置であること。

6 表彰

表彰の区分および種類は以下の通りとし、総合は 3 位まで、種目別は 6 位まで表彰する。

- (1) 総合成績
 - a) 男子総合
 - b) 女子総合
- (2) 種目別成績
 - a) アキヤボート搬送種目
 - b) チーム総合滑降種目
 - c) ロープ操法種目
 - d) 三角巾包帯法種目

第 28 回スキーパーロール技術競技大会 選手名簿

エン トリ ー NO	ビブ NO	チーム名	区分	氏名	性別	選手登録					備考
						ビブ	ロー プ	三角 巾	搬送	総合	
1		ばんけい スキーパーロー ル	選手	斉藤 亮介	男						
			選手	向井原 健	男						
			選手	鎌田 匡	男						
			選手	渡辺 孝康	男						
			選手	村井 勇太	男						
			選手	工藤 一致	男						
2		青森選抜	監督	今 良弘	男						
			選手	小笠原 崇文	男						
			選手	富士 知史	男						
			選手	竹原 伸郎	男						
			選手	守屋 良起	男						
			選手	三上 智香	女						
			補欠	工藤 雅人	男						
3		宮城選抜	監督・選	高橋 元一	男						
			選手	三神 良太	男						
			選手	鈴木 寛	男						
			選手	高橋 克啓	男						
			選手	阿部 奈緒	女						
			選手	村上 智昭	男						
4		山形県北	監督	阿部 直樹	男						
			選手	柴田 陽幸	男						
			選手	塚田 真也	男						
			選手	南部 一広	男						
			選手	海藤 昭	男						
5		福島選抜	監督・選	遠藤 秀明	男						
			選手	渡部 隆行	男						
			選手	柿沼 孝行	男						
			選手	馬場 相仁	男						
			補欠	酒井 俊介	男						
			補欠	二瓶 絢子	女						
6		群馬選抜	監督・選	鈴木 高史	男						
			選手	白鳥 順司	男						
			選手	唐澤 幸介	男						
			選手	吉澤 哲也	男						
			選手	星野 利明	男						

エン トリ ー NO	ビブ NO	チーム名	区分	氏名	性別	選手登録					備考
						ビブ	ロー プ	三角 巾	搬送	総合	
7		チーム 埼玉Ⅱ	選手	牛久保 努	男						
			選手	山原 弥	男						
			選手	横島 和美	男						
			選手	赤坂 宏	男						
			選手	北村 匡史	男						
			監督・選	谷島 稔	男						
8		チーム 東京	監督・選	三井 晃一	男						
			選手	外山 明日香	女						
			選手	丸井 里絵	女						
			選手	新田 恭子	女						
			選手	水上 晶	女						
			選手	三井 由香	女						
9		神奈川	監督・選	佐藤 公一	男						
			選手	吉田 俊文	男						
			選手	笹生 修一	男						
			選手	三宅 秀一	男						
			選手	坪井 晴人	男						
10		石川選抜	監督・選	辰巳 渡	男						
			選手	小倉 誠吾	男						
			選手	中野 善人	男						
			選手	山崎 健治	男						
			補欠	宮本 信子	女						
			補欠	中野 真由美	女						
11		平湯温泉スキ ーパトロール A	監督	内方 陽一	男						
			選手	内方 一	男						
			選手	広田 伸太郎	男						
			選手	内野 俊司	男						
			補欠	植田 豊	男						
			選手	大下 浩二	男						
12		平湯温泉スキ ーパトロール B	監督・選	植田 一成	男						
			選手	溝脇 欽也	男						
			選手	岡田 純平	男						
			選手	植野 光人	男						
			補欠	和仁 正彦	男						

2013 年度公認スキーパトロール研修会（第 3 会場）開催要項

- 【 会 期 】 2013 年 3 月 22 日(金)～24 日(日)
- 【 会 場 】 群馬県・スノーパーク尾瀬戸倉
- 【 主 催 】 財団法人全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 教育本部安全対策部
- 【 協 力 】 群馬県スキー連盟安全対策部 スノーパーク尾瀬戸倉パトロール隊
- 【本部宿舎】 尾瀬高原ホテル TEL 0278-58-7511 hotel@ozetokura.co.jp
〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉 329
- 【 責 任 者 】 山田 隆 (SAJ 理事)
- 【主任講師】 川内 慎吾
- 【 講 師 】 奥山 光幸 新井 和夫 班目 敦子 大月 照治
- 【現地総務】 森山 直温

メモ

2013 年度 SAJ 公認スキーパトロール研修会日程

日時	3 月 22 日 (金)	3 月 23 日 (土)	3 月 24 日 (日)
7:00			
		朝の集い	朝の集い
8:00		朝食	朝食
9:00			
10:00	役員集合	実技研修	実技研修
11:00			
12:00	参加者受付	昼食	閉会式 解散
13:00	開会式		
14:00		実技研修	
15:00	実技研修 (救急法)		
16:00			
17:00		理論研修	
18:00			
19:00	夕食	情報交換会	
20:00	理論研修		
21:00			

メモ

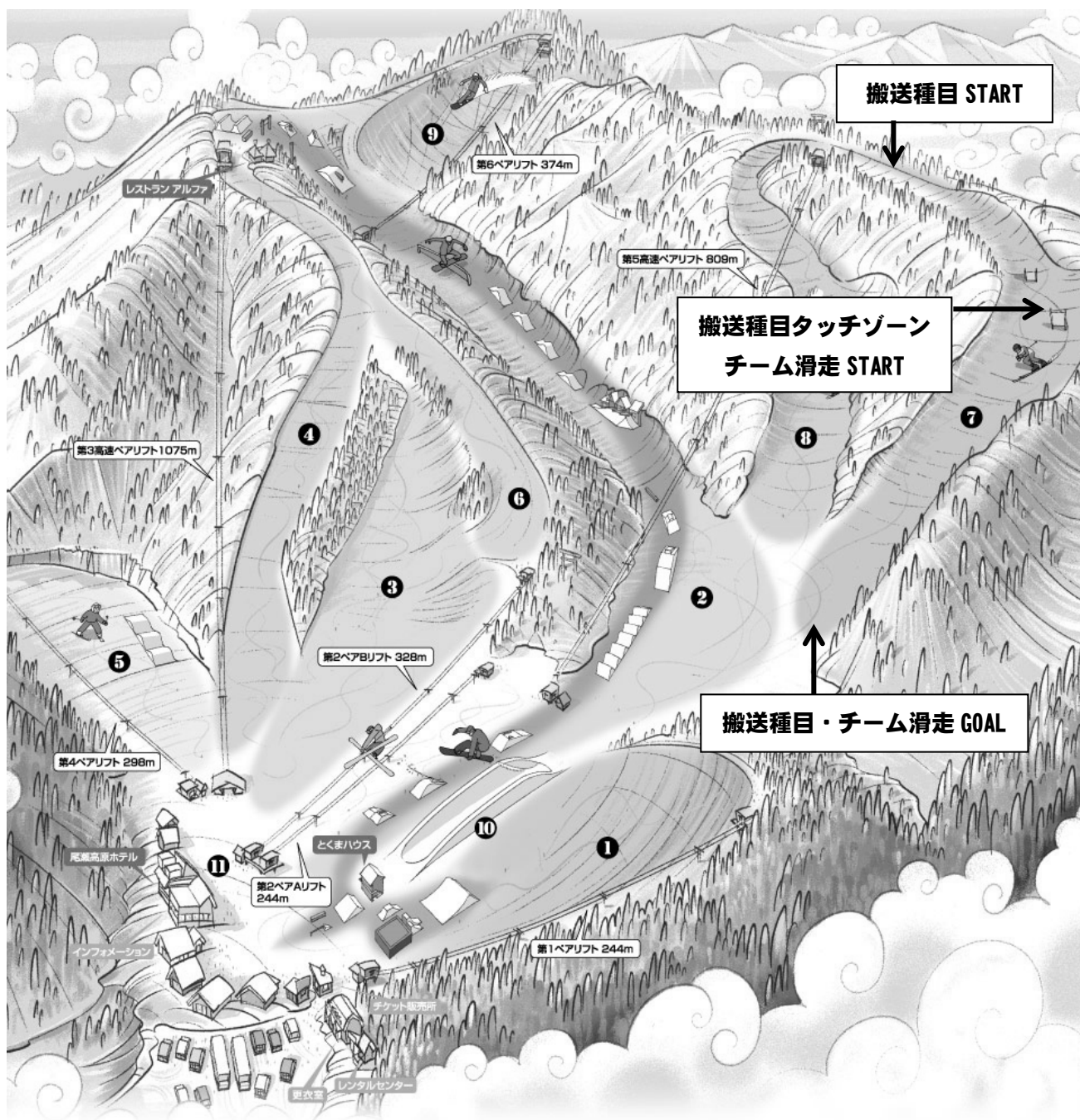
研修会参加者名簿

NO	氏名	ふりがな	性別	加盟団体	所属団体	備考
1	今 良弘	こん よしひろ	男	青森県	岩木スキークラブ	兼大会
2	工藤 雅人	くどう まさと	男	青森県	岩木スキークラブ	兼大会
3	守屋 良紀	もりや よしき	男	青森県	平内町スキークラブ	兼大会
4	竹原 伸郎	たけはら しんろう	男	青森県	弘前スキークラブ	兼大会
5	三上 智香	みかみ ちか	女	青森県	岩木スキークラブ	兼大会
6	小笠原 崇文	おがさわら たかふみ	男	青森県	岩木スキークラブ	兼大会
7	富士 知史	ふくし ともふみ	男	青森県	岩木スキークラブ	兼大会
8	志藤 政喜	しとう まさき	男	山形県	自然観スキークラブ	
9	佐竹 亮一	さたけ りょういち	男	山形県	自然観スキークラブ	
10	遠藤 清実	えんどう きよみ	男	山形県	自然観スキークラブ	
11	阿部 充	あべ みつる	男	山形県	自然観スキークラブ	
12	志藤 宣徳	しとう よしのぶ	男	山形県	自然観スキークラブ	
13	小林 直幸	こばやし なおゆき	男	山形県	自然観スキークラブ	
14	遠藤 直裕	えんどう ただひろ	男	山形県	自然観スキークラブ	
15	佐藤 元治	さとう もとはる	男	山形県	自然観スキークラブ	
16	菅井 孝啓	すがい たかひろ	男	山形県	自然観スキークラブ	
17	鈴木 光貴	すずき こうき	男	山形県	大江スキークラブ	
18	菅井 正貴	すがい まさき	男	山形県	自然観スキークラブ	
19	片平 匡紘	かたひら ただひろ	男	山形県	蔵王スキーパトロール	
20	小関 清一郎	こせき せいいちろう	男	山形県	蔵王スキーパトロール	
21	横田 仁	よこた ひとし	男	群馬県	高崎市スキー連盟	
22	後藤 泰彦	ごとう やすひこ	男	群馬県	草津スキークラブ	
23	古畑 清美	ふるはた きよみ	男	群馬県	草津スキークラブ	
24	茂木 敏	もぎ さとし	男	群馬県	水上スキークラブ	
25	石田 満弘	いしだ みつひろ	男	群馬県	水上スキークラブ	
26	高橋 かづさ	たかはし かづさ	女	群馬県	高崎市スキークラブ	
27	小和田 美由紀	こわだ みゆき	女	群馬県	高崎市スキー連盟	
28	中澤 卓	なかざわ すぐる	男	群馬県	草津スキークラブ	
29	深澤 和己	ふかざわ かずみ	男	群馬県	草津スキークラブ	
30	笠原 映也	かさらは てるや	男	群馬県	片品スキークラブ	
31	白鳥 順司	しらとり じゅんじ	男	群馬県	草津スキークラブ	兼大会
32	松本 智	まつもと さとる	男	群馬県	水上スキークラブ	
33	横山 巖	よこやま いわお	男	群馬県	水上スキークラブ	
34	唐澤 幸介	からさわ こうすけ	男	群馬県	片品スキークラブ	兼大会
35	星野 和彦	ほしの かずひこ	男	群馬県	片品スキークラブ	
36	梅沢 努	うめざわ つとむ	男	群馬県	片品スキークラブ	
37	林 雅俊	はやし まさとし	男	群馬県	片品スキークラブ	
38	吉澤 哲也	よしざわ てつや	男	群馬県	昭和スキークラブ	兼大会
39	潮田 義彦	うしおだ よしひこ	男	埼玉県	上里町スキー連盟 KDM12	
40	三上 耕作	みかみ こうさく	男	埼玉県	行田市スキー連盟	
41	堀内 知幸	ほりうち ともし	男	埼玉県	熊谷市スキー連盟	
42	横島 和美	よこしま かずみ	男	埼玉県	狭山市シ・アマンテ SC	兼大会

研修会参加者名簿

NO	氏名	ふりがな	性別	加盟団体	所属団体	備考
43	牛久保 努	うしくぼ つとむ	男	埼玉県	川越市スキー連盟	兼大会
44	山本 美苗	やまもと みなえ	女	埼玉県	さいたま市スキー連盟	
45	谷島 稔	やじま みのる	男	埼玉県	狭山市役所	兼大会
46	中島 雅一	なかじま まさかず	男	埼玉県	さいたま市スキー連盟	
47	北村 匡史	きたむら ただし	男	埼玉県	草加市松原スキークラブ	兼大会
48	佐藤 俊寿	さとう としひさ	男	埼玉県	宮代町スキー連盟	
49	山原 弥	やまはら わたる	男	埼玉県	川越市スキー連盟	兼大会
50	吉田 浩二	よしだ こうじ	男	千葉県	八千代市スキー連盟	
51	村松 寛治	むらまつ かんじ	男	東京都	練馬区スキー協会	
52	安田 司	やすだ つかさ	男	東京都	ブラッシュミルススキークラブ	
53	新田 恭子	にった きょうこ	女	東京都	杉並区スキー連盟	兼大会
54	韭澤 新太郎	にらさわ しんたろう	男	東京都	ヴェスタ SC	
55	打道 隆	うちみち たかし	男	東京都	リーゼンススキークラブ	
56	粟飯原 勉	あいはら つとむ	男	東京都	大田区役所	
57	松本 明美	まつもと あけみ	女	東京都	ヴァーティカルスキー連盟	
58	藤井 和重	ふじい かずしげ	男	東京都	六花スキークラブ	
59	三井 晃一	みつい こういち	男	東京都	白銀スキークラブ	兼大会
60	小池 真理子	こいけ まりこ	女	東京都	東京デフスキークラブ	
61	水上 晶	みなかみ あき	女	東京都	ダブルダイヤモンドスキーヤーズ	兼大会
62	新保 佐知子	しんぼ さちこ	女	東京都	ヴァーティカルスキークラブ	
63	清水 哲治	しみず てつじ	男	東京都	ときわスキークラブ	
64	菊地 元子	きくち もとこ	女	東京都	ファーストスキークラブ	
65	佐野 隆	さの りゅう	男	東京都	タントスキークラブ	
66	丸井 里絵	まるい りえ	女	東京都	ヨシマルスキークラブ	兼大会
67	野村 淳一	のむら じゅんいち	男	東京都	東京石楠花会	
68	外山 明日香	とやま あすか	女	東京都	フロンティアスキークラブ	兼大会
69	三井 由香	みつい ゆか	女	東京都	パススキークラブ	兼大会
70	富士川 裕司	ふじかわ ひろし	男	神奈川県	雪稜スキークラブ	
71	根岸 恭代	ねぎし やすよ	女	神奈川県	川崎スキークラブ	
72	林 正春	はやし まさはる	男	新潟県	舞子高原スキークラブ	
73	西村 誠	にしむら まこと	男	福井県	今庄スキー協会	
74	小山 美直	こやま よしなお	男	長野県	小諸スキークラブ	
75	丸山 常行	まるやま つねゆき	男	長野県	南佐久郡体育協会スキー部	
76	奥原 登志郎	おくはら としろう	男	長野県	乗鞍スキークラブ	
77	山本 隆一	やまもと りゅういち	男	長野県	野沢温泉スキークラブ	
78	植田 一成	うえだ かずなり	男	岐阜県	平湯温泉スキークラブ	兼大会
79	岡田 純平	おかだ じゅんぺい	男	岐阜県	平湯温泉 SC	兼大会
80	植野 光人	うえの みつひと	男	岐阜県	平湯温泉スキークラブ	兼大会
81	川村 健	かわむら けん	男	愛知県	BE-IN	
82	平野 寿美	ひらの としみ	男	兵庫県	スノークリード	
83	定岡 達文	さだおか たつふみ	男	岡山県	阿新スキークラブ	
84	山口 歳弘	やまぐち としひろ	男	岡山県	阿新スキークラブ	

スキーパトロール技術競技大会雪上種目コース図



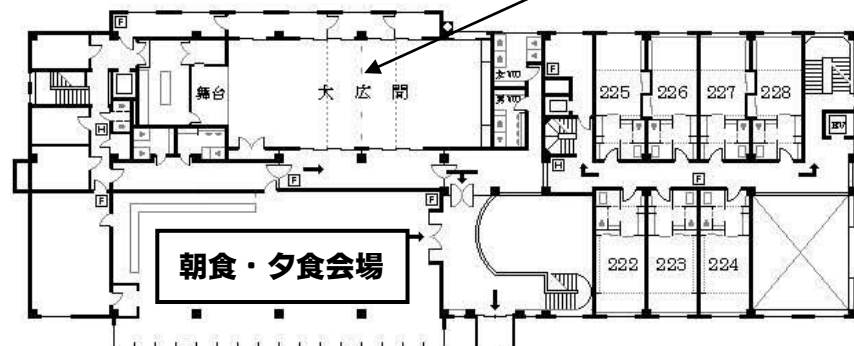
①	十二平ゲレンデ	中級	240m	斜度 16.9°	標高 1156m
②	ロマンスコース&雪番長パーク	初級	2200m	斜度 13.4°	標高 1408m
③	A コース	上級	520m	斜度 21.1°	標高 1252m
④	パノラマ・かもしかコース	中級	1150m	斜度 16.6°	標高 1345m
⑤	レッスングレンド	初級	325m	斜度 8.8°	標高 1129m
⑥	富士見コース	中級	468m	斜度 17.6°	標高 1275m
⑦	ダイナミックコース	上級	1041m	斜度 16.3°	標高 1392m
⑧	荒山コース	上級	925m	斜度 17.4°	標高 1392m
⑨	ダイヤモンドゲレンデ	中級	461m	斜度 17.3°	標高 1408m
⑩	ハーフパイプ	上級	120m	斜度 16.5°	標高 1140m
⑪	キッズパーク	ホテル前	すべり台	そり遊びなど	

尾瀬高原ホテル

◆ 施設のご案内

- 収容280名様 ● 客室56室 ● 全館暖房完備 ● 第1・2別館
- 1F レストラン(収容350名) ● 2F レストラン(収容200名)
- 男女大浴場 ● スキー乾燥室 ● 売店
- 大駐車場完備 ● レンタルスキー・ボード

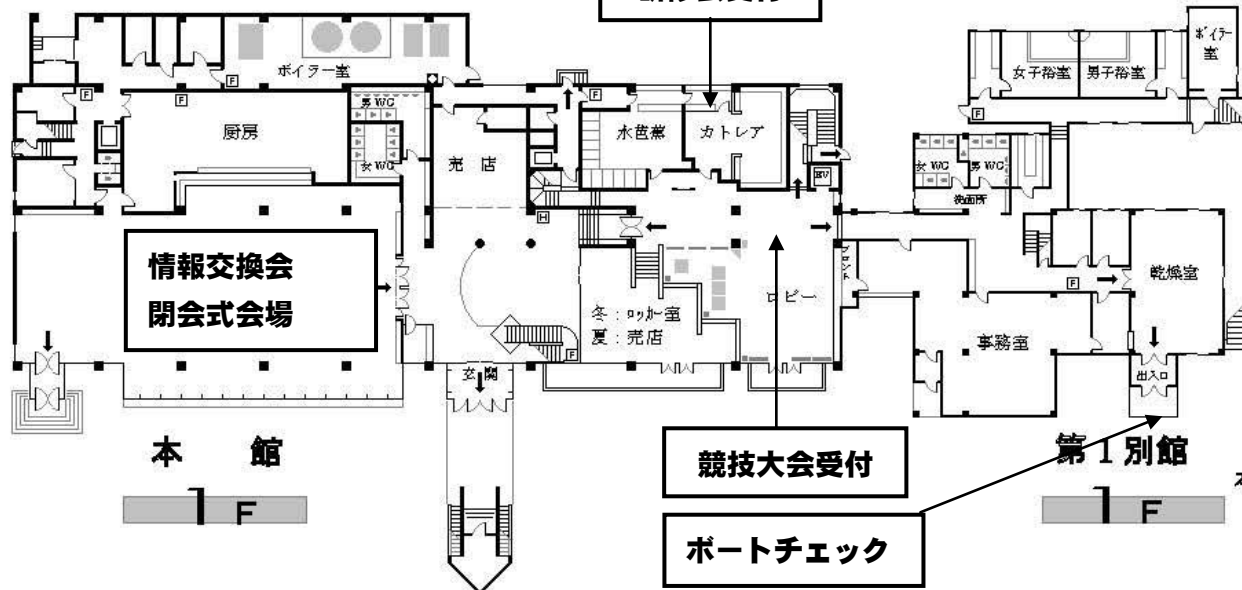
競技大会・研修会
開会式
監督会議
室内競技会場



本館

2F

競技大会本部
組織委員会
役員会
研修会受付

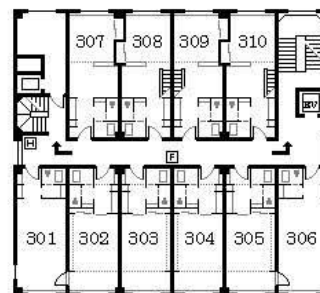


本館

1F

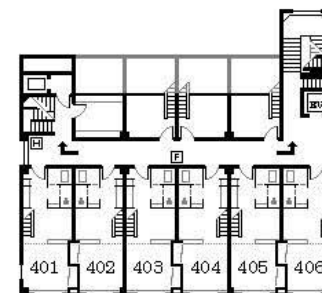
競技大会受付

ポートチェック



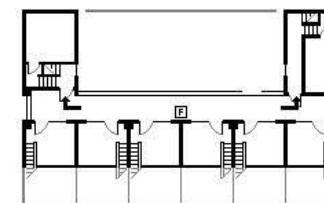
本館

3F



本館

4F

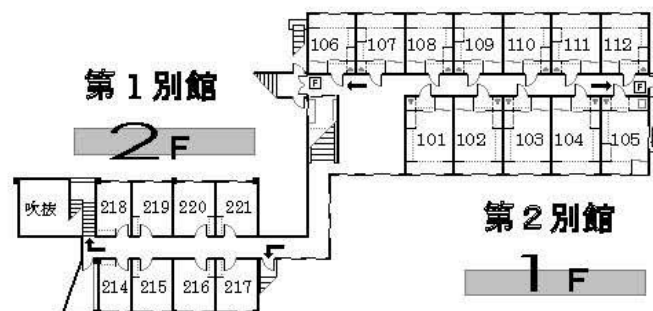


本館

5F

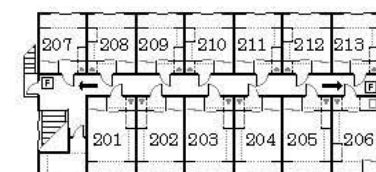
第1別館

2F



第2別館

1F



第2別館

2F

- 当ホテルは火災予防には万全を期しておりますが、念の為、非常口及び非難経路をお確かめ下さい。

凡例

- ← 非常口・非常階段
- [F] 消火栓表示
- [H] 消火器表示

立面図



安全進化論

人類は進化の歴史の中で道具を手にし、「スキーにヘルメット」という常識を創り出した。人も、安全もデザインも進化する。



I LOVE SNOW

(財)全日本スキー連盟／(社)日本職業スキー教師協会／(財)日本鋼索交通協会／
全国スキー安全対策協議会／(社)日本スポーツ用品工業協会

・ご使用上の注意：ヘルメットは構造上、衝撃を受けると外部および内部が破損することにより衝撃を吸収します。
滑走時の転倒、衝突はもちろん、ヘルメットを単体で落としたり、過度の力が加わった場合などでも破損・変型する場合があります。
内部の損傷は表側からは分からない場合もありますので、一度衝撃を受けたヘルメットの再使用はお避けください。
また経年変化が発生する場合がありますので、使用目安期間を過ぎましたら、買い換えをお勧めします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
日本スキー産業振興協会 (JSP)

50th
ANNIVERSARY



SNOW PARK
oze tokura

関越道沼田 | Cより60分



〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉 329 (株)P & C尾瀬

Tel 0278-58-7511

fax 0278-58-7878

尾瀬探勝の発進基地！



群馬県側からの尾瀬入山口「鳩待峠」までわずか25分！

「尾瀬」へ・・・最短・最適立地の
尾瀬高原ホテル

〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉 329 (株)P & C尾瀬

tel. 0278-58-7511